

第4回独立行政法人都市再生機構業務実績評価有識者会合 議事概要

1. 日時

平成30年6月25日(木) 14:00~15:30

2. 場所

中央合同庁舎第3号館11階特別会議室(東京都千代田区)

3. 主な出席者

〈外部有識者〉	長 沢 美 智 子	弁護士
	浅 見 泰 司	東京大学大学院工学系研究科教授
	井 出 多 加 子	成蹊大学経済学部教授
	黒 田 克 司	公認会計士
〈国土交通省〉	山 口 敏 彦	大臣官房審議官
	眞 鍋 純	大臣官房審議官
	榊 真 一	大臣官房審議官
〈都市再生機構〉	中 島 正 弘	理事長
	石 渡 廣 一	副理事長
	廣 岡 成 則	理事長代理
	伊 藤 治	理事長代理

4. 議事

- (1) 第3期中期目標期間(見込)及び平成29年度における業務実績に係る理事長ヒアリング及び自己評価について
- (2) 第3期中期目標期間(見込)及び平成29年度における業務実績に係る大臣評価について
 - ①項目別評価について
 - ②総合評価について
 - ③大臣評価の決定について

5. 議事概要

- 都市再生機構(以下「機構」という。)の第3期中期目標期間(見込)及び平成29年度における業務実績の概要等について、機構理事長へヒアリングを行った。
- 機構の第3期中期目標期間(見込)における業務実績に係る自己評価について、4項目をA評価、16項目をB評価とし、平成29年度における業務実績に係る自己評価について、5項目をA評価、15項目をB評価とした旨、機構から説明がなされ、外部有識者からの質疑応答が行われた。

(第3期中期目標期間(見込) A評価)

- ・ No. I-1-4 「防災性向上による安全・安心なまちづくり」
- ・ No. I-2-1 「超高齢社会に対応した住まい・コミュニティの形成」
- ・ No. I-3 「東日本大震災からの復興に係る業務の実施」
- ・ No. III-1 「繰越欠損金の削減、財務体質の強化」

(平成29年度 A評価)

- ・ No. I-1-4 「防災性向上による安全・安心なまちづくり」
- ・ No. I-2-1 「超高齢社会に対応した住まい・コミュニティの形成」
- ・ No. I-3 「東日本大震災からの復興に係る業務の実施」

・ No. I-4-1 「ニュータウン事業」

・ No. III-1 「繰越欠損金の削減、財務体質の強化」

- 機構退室後、機構の第3期中期目標期間（見込）及び平成29年度における業務実績に係る大臣評価案について、機構の自己評価と同一の評定とした旨、国土交通省から説明を行い、有識者から意見聴取を行った。

6. 外部有識者からの意見

(1) 項目別評定

- 大臣評価案のうち、全項目について、評定が妥当であるとの意見で一致した。

(2) 総合評定

- B評定という大臣評価案に対し、外部有識者もB評定が妥当であるとの意見で一致した。

(3) 主な意見等

- 東日本大震災からの復興において重要な役割を果たしたが、今まで培ってきた技術力やノウハウを機構内でしっかりと継承してほしい。
- CM方式をはじめとした、機構の先駆的な取組み等を地方公共団体に水平展開を行うことによって、機構のノウハウを地方公共団体支援に活かしてほしい。
- 都市再生事業は地区によって困難度や投資効果がかなり異なるため、特に困難な事業を行った地区等に評価が工夫できるようにしてほしい。
- 5年ごとの中期目標・中期計画は1つの羅針盤として大事なものであるが、長期的な持続性や継続性の観点から、長期的視点での目標や計画を設定するべきではないか。

以 上